

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

歴史と伝統、そして エキサイティングな街ロンドンに暮らして



愛知県政策企画局国際課 主幹 浅田 努

はじめての海外生活

就職して以来、約 30 年、愛知県内で仕事をしてきた私が、初めて経験した県外勤務、そこはロンドンでした。

ロンドンで暮らしてみて、まず驚いたのは多様性でした。初めて乗ったバスの中には、いろいろな肌の方が出て、英語だけでなく、スペイン語、中国語などさまざまな言語での会話が聞こえました。現地スタッフから受けたオリエンテーションで、ロンドンの白人は 50% 未満との統計データの説明を受けて驚いたのをよく覚えています。ロンドン=多民族というイメージは持っていませんでした。約 25% が同性愛者との説明も同時に受けましたが、にわかには実感がわきませんでした。ロンドンで生活するうちに、観光地やパブの片隅で、ごく自然にキスをする美男子カップルを目撃し、なるほどと納得しました。

日本を発つ直前に、ロンドンに留学経験のある方から、「いい感じに放っておかれる」と言われました。日本人だからといって、めずらしくもなく、みんなが多様性を受け入れている。その方のおっしゃったことの意味が理解できました。

かけがえのない経験

ロンドン事務所在任期間中は、たくさんの出会いとかけがえのない経験をさせていただきました。事務所では、現地スタッフや日本全国さまざまな地方自治体から派遣されている職員、人材派遣スタッフの皆様と出会うことができました。皆様、前向き、そして気さくで、JET 関係のイベントや日本紹介イベント、活動支援など楽しく取り組みました。ちょうど在任期間中に、ラグビーワールドカップ 2015 や総選挙、EU 離脱に関する国民投票などと重なり、ワールドラグビーアワード授賞式への参加や総選挙、国民投票の開票作業体験など日本においては、得がたい経験をたくさんさせていただきました感謝しています。

アフターファイブも異業種勉強会 Club London への参加や英国日本人会の活動への参加を通じて、英国で活躍する同世代や若くして渡英後、成功した先輩方と交流することができ、とても刺激を受けました。

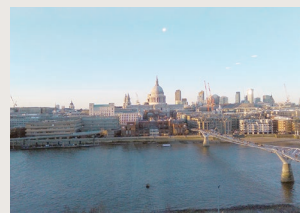
おわりに

英語を話す機会にあふれていた 2 年間でしたが、語学力の飛躍的アップとはいかず、その点は後悔しています。しかし、これだけは自信をもって言えます。派遣前は外国人観光客の方が街中で困っていても見て見ぬ振りをしてしまう私でしたが、今の私は必ず声をかけます。度胸だけはついたのと、ロンドンの街中で何度となく見ず知らずの方からしていただいた、たくさんの親切に少しでも恩返しできたらと思っています。

ロンドンを発つ直前、日本人会の活動で知り合って、滞在中にお世話になった方から、「とてもロンドンらしい風景を見せに連れて行ってあげる」と言われ、夕暮れのテートモダンに連れて行っていただきました。歴史的建造物、セント・ポール寺院のバックに高層ビル群が広がり、建設中のビルがあるのか、いくつものクレーンが見えています。まだまだ投資を呼び込んでいるロンドン。EU 離脱を決めているのにも思いました。この風景は、2 年間、ロンドンで暮らした証として、しっかり心に刻み込んでいます。



ラグビー市訪問



思い出の風景

プロフィール

1988 年 愛知県庁入庁
2015 年 4 月～2017 年 3 月 クレアロンドン事務所 次長
2017 年 4 月 愛知県政策企画局国際課 主幹